



宝木地区公民館だより

10月24日・25日（土・日）宝木地区文化祭 が開催されました。
 たくさんのご来場ありがとうございました。

第35回宝木地区文化祭が10月24、25日に開催されました。作品展では、保育園児や小学校児童の作品をはじめ多くの皆様から力作が出品されました。また、芸能発表ではどのグループの方々も日頃の練習の成果を発揮され、サークル活動の集大成ともいえるすばらしいものでした。

昼の振舞いや各種イベント、講演会等どれも大盛況のうちに終了することが出来ました。改めて、この度の宝木地区文化祭にご参加頂いた皆様、開催の準備から当日の運営に関わって下さった実行委員をはじめ、地域の皆様に心より御礼申し上げます。



宝木地区文化祭
 文化祭実行委員長
 山本 範隆

芸能発表に出演して

宝木詩吟同好会
 野村 雅江



吟詠の心得のひとつとして、詩の精神を体得して詩中の人になりきってこそ人に感動を与えることが出来る。姿勢を整え心を正して雑念を払い、精神を統一し吟じるなど指導を受けているのですが、なかなか大変です。

今回は初めて袴を着て姿勢を正し、大きな声を出すことなど、出来る限りの努力をし吟じたのですが、皆様にはどう受け止めてもらえたのでしょうか。

これからも、一步一步と人に

感動を
 与える
 吟詠を
 目指し
 てが
 ばり
 いた
 い思
 ます。

エコバッグ作り

村上 寛子

女性部主催のエコバッグ作りに参加させていただきました。のぼり旗を利用し、特徴として、生地は薄いですが、強くて軽いと最適のようです。

早速、説明をざっくりと聞きました。正直、「難しそう、大丈夫か?」と思いましたが、先生に手順を教えてください、3



〜4時間程度で仕上げの事ができます。日々のミシン使用に戸惑いましたが、

見本は大小2通りのバッグでしたが、私は大きなエコバッグに挑戦しました。実際に買い物に持っていく、今ではすこ



重宝しています。思った以上に沢山入るので、重くなりすぎる事もありませんが、丈夫なので破れません。

毎年、色々な教室を開催されていますので、機会があればまた参加させていただきたいと思えます。

お出かけ文化教室

延原 キクミ

去る11月2日にお出かけ文化教室に参加しました。

研修先は兵庫県宍粟市(しそうし)で、最初は長い吊り橋を渡って着いた先には「日本の滝百選」の一つの原不動滝で落差88メートルの男滝と女滝で周囲の紅葉とのコントラストが非常に見事でした。

次に向かったのは伊和神社

で、まず鳥居を入ってすぐの境内には、すこく大きくなりっぱな夫婦杉が目に入りました。



この本殿には、神様の化身である2羽の鶴が、北向きに眠っていたという「鶴石」や、それにちなんで造営された珍しい北向きの社殿、また、大國主命にまつわる数々の伝説があるという宮司さんのお話がありました。

最後は、たたら(たたら)の里学習館に寄って、先人達の技術とご苦労と歴史を垣間見たひとときでした。また、講師の説明も丁寧で、有意義な1日を堪能しました。公民館の皆様お世話になりました。また次回も期待しています。

宝木地区健康ウォークに参加して

松本 みのり

好天に恵まれ、わくわく歩きました。山道に入り、意外に広い道にびっくり。昔の通学路と聞き、懐かしい感じで歩が進みます。

下坂本の西山1号古墳に到着。落葉とつる草に包まれただけの所ですが、古代人の生きた様子を想像しました。山を越える日光の田園風景が広がり、所々紅葉も見られ、素敵なウォーキングコースです。

日光生姜の収穫の様子を見学して、掘りたてをお土産にいただきました。



日光の鎮守様、杉谷神社で手を合わせ、昔の子どもは椎の実を拾って

食べた話に花が咲きました。

9号線まで出て、亀井公の功績を称える石碑を皆で読み、千代平野に続く広大な土地をうるおす業績を再確認しました。

日常通る道に、この碑があることや、地元が存在する歴史に対して無関心でいた事を反省したウォーキングでした。

快い風と楽しい会話、目にする景色に心いやされ、良い事づくめの健康ウォーキング、日頃から取り入れたいものです。

ロシア講座に参加して

宝木 Mさん

11月29日、外国の文化に触れてみたくて参加しました。日本語がどれ位通じるのかと思いつつ、いながら当日を迎えましたが、とにかく流暢な日本語で不要な心配でした。

国際交流員のエカテリーナさんを講師に、

- ① ロシアの紹介
- ② ロシアの料理



どちらも大変美味でした。本日の企画、本の

ロシアの紹介では、面積は日本の45倍、日本に多い方言は無く全土同じ発音、等々・・・興味深かったのは、あの有名な「マトリョーシカ」の起源は日本の「こけし」という説があるとのこと、ビックリボン！



次はロシア料理。ボルシチはスープですが、ビーツという地元の食材が、まっ赤な色あいを出していてとても綺麗で、野菜もたくさん入っていてヘルシーです。

ブリヌイはロシア風のクレープのことで、シヤム・練乳をつけて食しました。子どもの頃の母の手作りオヤツを思い出しました。

どちらが大変美味でした。本日の企画、本の

当に感謝です。楽しかったです。ありがとうございます。



田んぼは、何処へ

船本 真弓

『もうすぐしたら、池があるんだよ！』当時、10歳の私は由良駅から鳥取行の汽車に乗り、学校行事で車中の旅を楽しんでいた。宝木駅を過ぎた頃、冒頭のセリフを得意げに言ったとたん、池があるはずの場所がなんと、田んぼになっていたのである。一瞬目を疑ったが、どう見ても田んぼ。池は何処へ？

そんな疑問を抱いて解決されぬまま縁あってこの土地に嫁いできた。

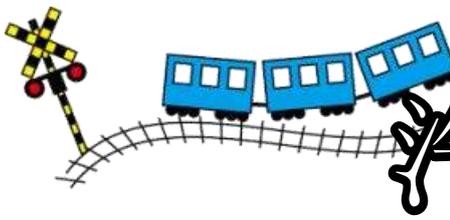
その池の名は水尻池。

『この池は前、田んぼに変わったことあるの？』と、義父母に聞いたところ、昔話をしてくれ

た。古い時代から水田として干拓され、春から秋まではポンプで池の水を排水して湖底を水田として利用し、冬になるとまた池に戻していたらしい。そして昭和56年に水田としての幕があり、池となった。今は渡り鳥の越冬地。

そして水尻集落の人々の豊作や健勝を見守る伝統行事、水尻菖蒲綱も国の無形文化財に指定されており、毎年6月になると菖蒲綱の行事が楽しめる。遠い昔、汽車の中で見たあの日の風景が、今は私の目の前に広がっている。





はてなクラブ 汽車遠足



11月16日（月）、前日まで雨が続き、無事に開催することができるのか？と不安でしたが、みんなの気持ちが届いたのか、この日だけは太陽が顔を出し最高の遠足日和になりました！
 今回の行き先は、『コカ・コーラウエストスポーツパーク（布勢総合運動公園）』。宝木駅で切符を買って、鳥取大学前駅で下車。普段なかなか乗ることのない汽車に、みんな自然と笑顔がこぼれます(^v^♪着いた先では、遊具を利用して鬼ごっこをしたり、あるグループでは独自の遊びを考え出したり…。晴れ空の中、一緒に思いっきり体を動かして楽しく過ごしました♪

列車で歩くとき、下の子は荷物を持ってあげようかなんかの声をかけたりをしたりしました。みんなといっしょに何かあつたかに行き先までお散歩が楽しかったです。おにぎりなどが楽しかったです。

中江 美紗希さん（6年）

おもしろ広場(遊具)で鬼ごっこスタート～！

鳥取大学前駅までの切符をください！

ガタン…ゴトン…ガタン…ゴトン…



にげろ～

きゃー！

今までお汽車に乗った事はあるけど鳥取前までお出掛けしたのは初めてでした。

柴田 瑛斗さん（4年）



汽車遠足で、学校とはべつで集団行動をして、みんなと楽しく遊んだり、仲よくできてよかったです。

佃 凜花さん（6年）



おなかペコペコ～

お弁当タイム～(´▽`) みんなのお弁当とってもおいしそう♪

編集後記

この時期、何かそわそわするのは、その間に春の気配を感じるからでしょう。下期の公民館だよりが出来上がりました。宝木地区では今年もいろいろな事業が開催されましたが、来年度も盛りだくさんのメニューを計画しています。これまで出不精だった皆さんも、一度参加されてはいかがでしょう。

~~~~ はてなクラブ ~~~~  
 平成24年7月から始まり、宝木校区の小学生を対象に、毎月1回（7・8月はお休み）様々な体験活動を行っています。異年齢の子どもたちが、みんなで協力し共同作業を通して、いろんなことを楽しく学べる場でもあります。興味のある子ども達はぜひ参加してみてください！